



ごあいさつ

著者	原田 唯司
雑誌名	教育実践高度化専攻成果報告書抄録集
巻	3
ページ	none-none
発行年	2013-03-29
出版者	静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻
URL	http://doi.org/10.14945/00007269

2013年3月吉日

ごあいさつ

この度、静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）の第3期修了生による成果報告の抄録集を発行することになりました。

本抄録集は、静岡県教育委員会から派遣された現職大学院生15名と、大学卒業後に本専攻に入学した学卒大学院生5名の合計20名の修了生が、2年間にわたって追究してきた実践的研究の取組の経過及び成果の概要をまとめたものです。成果報告書の本文そのものはいずれもA4版で100ページを超えていますが、関心をお持ちの方々に、各大学院生の取り組みをコンパクトにまとめて、わかりやすくお伝えしたいとの考えから、本抄録集を刊行することにいたしました。ご希望の方につきましては、本文そのものを本教職大学院で閲覧することも可能です。

なお、この抄録集の発行に先立って、本年3月2日（土）に公開の成果報告会を開催し、合わせて文部科学省高等教育大学振興課教員養成企画室長の鍋島豊氏による講演『教員養成の高度化と教職大学院の今後の役割』を行い、総勢132名の参加を得て成功裡に終了したことを申し添えておきます。

この抄録集をぜひご覧いただき、教職大学院修了生各自がこの2年間何をどのように学び、どのような課題に取り組み、どのように実践的指導力を身に付けようとしたのか、それぞれの学修プロセスをご理解いただけましたら幸いです。大学院生による実践的研究の取組には、本教職大学院に在籍する専任教員や静岡県内各地の連携協力校の先生方からの支援や連携協力が欠かせない要素であったことは言うまでもありません。修了生による取組の成果が、学校教育現場の課題解決や組織マネジメント、授業や生徒指導等の教育活動のいっそうの改善につながることを切に願っております。

本教職大学院に在籍した大学院生が、新しい学校づくりを進める新人教員として、あるいはスクーラーリーダーにふさわしい力量を備えた中核的中堅教員として、各自が本教職大学院における2年間の学修成果を学校や地域に積極的に還元し、学校教育現場でさらなる飛躍を遂げることを期待しております。また、本専攻修了後の着任校あるいは採用校における教育実践の質的向上に関して、送り出したわれわれ教職大学院スタッフ一同が引き続きサポートしようと考えているところです。これを機に、本教職大学院が静岡大学教育学部・大学院教育学研究科と学校教育現場や教育委員会との間によりいっそう緊密な協働関係を構築する架け橋となることを願っております。

最後になりましたが、本専攻における実践的研究の取組に関して静岡県教育委員会を始めとする各教育委員会及び連携協力校から絶大なるご協力を賜りましたこと、さらに本抄録集の作成にあたって欧文の添削をお引き受けいただいた Peter Clemments 先生に、厚く御礼申し上げます。

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻

(教職大学院)

専攻長 原 田 唯 司